

キハ110系 八高線往復運転席展望

高崎 ~ 高麗川 (往復)

4K 撮影作品*



ANRS-72425B / 本編約 185 分 **5,500 円** (税込)



ANRS-72424 / 本編約 185 分 **4,950 円** (税込)

■撮影日 / 2024 年 10 月 11 日 (金) 晴時々曇 キハ111+112

■区間 / 高崎 (9:49 発) → 高麗川 (11:25 着 -32 発) → 高崎 (13:00 着)

■ 本編の概要 ■

高崎を発車し、ぐんま車両センターや JR 貨物高崎機関区を見ながら高崎線を進み、北藤岡の手前で渡り線を通り八高線へ入って行く。しばらく直線区間が続き、神流川を渡ると埼玉県になる。児玉では対向列車待ちで 9 分停車するが、交換駅が限られているローカル線での宿命だ。秩父鉄道と東武鉄道との乗換駅となる寄居を過ぎ、荒川を渡ると山間部を走る。サミットの折原～竹沢を越えると、東武東上線との並走が始まり小川町に着く。小川町出ると、次の明覚までの駅間距離が 8km と同線で最長となる。東武越生線が接続する越生、毛呂と進むにつれ市街地が広がる中を走り抜け、終点の高麗川に到着する。

なお、八高線 (高麗川～高崎) 用の新型気動車 HB-E220 系の落成が始まり、7 月には高崎 (ぐんま車両センター) へ甲種回送されてきました。同線でのキハ110系の活躍も、まもなく見納めとなりそうです。

■ JR 東日本商品化許諾済

◆ 展望本編 (高崎→高麗川) の主なキャプチャ画像 ◆

*本作は高崎→高麗川は 4K カメラ、高麗川→高崎は 2K カメラで撮影された映像をブルーレイ (DVD) 方式に変換して記録しています。



高崎を発車し、広い構内を進んで行く。右側には上信電鉄が走る。



ぐんま車両センターの横を通過。GV-E197 の姿が見える。
(高崎～倉賀野)



中線に入り、高崎線下り線を横断して八高線へ入って行く。
(倉賀野～北藤岡)



上越新幹線が頭上をクロスする。
(北藤岡～群馬藤岡)



群馬と埼玉との県境となる神流川を渡る。
(群馬藤岡～丹荘)



児玉では下り列車待ちで 9 分停車。交換可能駅が限られているので待ち時間が長くなる…



左から秩父鉄道が現れ、約 2km ほど並走しながら寄居へ向う。
(用土～寄居)



荒川を渡るが、上流部なので川幅は狭い。この先はしばらく山間部を走る。(寄居～折原)



カーブや勾配でうっそうとした峠区間を越えて行く。(折原～竹沢)



棒線化された竹沢。跨線橋も撤去され、いっそう侘しくなった。



東武東上線が右側を並走し始めると、ほどなく小川町に到着する。
(竹沢～小川町)



ログハウス風で赤いといがり屋根の駅舎が特徴的な明覚。春には桜がきれいに咲く。



東武越生線が接続する越生。この駅も棒線化されてしまった。



終点の高麗川に到着。ここより南は電化されていて、直通列車はなく、電車に乗換となる。

■ ご留意事項 ■

本作を弊社で試写したところ、復路展望区間 (高麗川→高崎) の画面が右下がり撮影されています。(一部シーンのキャプチャ画像)



(高麗川駅発車時)



(児玉駅到着前)

上記の点をご承知いただいた、お客様のみご注文をお願いします。
(ご購入後の返品には応じかねます)

■ 撮影時の気象条件や機材との関係により、明暗のバランスの乱れがある区間があります。また、列車の進行方向によって、逆光による反射光で正面ガラスへの写り込み、汚れ等で展望が見づらいと感じる区間もありますが、あらかじめご了承下さい。

■ キャプチャ画像は、お手持ちのパソコンやテレビ等の環境により、実際の映像より色味が違って見える場合がございます。